

校長室から (N0. 31)

「卒業おめでとう」の集い。私たちができること

3月2日の「卒業おめでとう」の集いを行いました。その際の私の挨拶です。
今回の休校の措置を受け、いつもの集会でない雰囲気が伝わるかと思い、掲載しました。

軒並み休校している学校が多い中、今日は、奇跡の日でした。

与えられた短い時間、卒業生、在校生、そして先生たちと、共に過ごすことができたことに、心から感謝したいと思います。

これまで準備をしてきた5年生さん、ありがとう
1～4年生の皆さん、ありがとう

そして、6年生の皆さん
これまでリーダーとしてがんばってきてくれてありがとう

あなたたちがいなくなると思うと、片腕がもぎ取られるような
さみしい気持ちになります。このよう機会があることで、卒業ということの意味
を改めて、考えることができたのではないのでしょうか。

さて、この度の明日からの休校は、目に見えない、まだ体験したことのない、ウ
イルスから、自分自身の命、皆さんの家族の命を守るための対策です。

決して、だれかのせいにははいけません。
静かに落ち着くのを待つのです。

これで、最後にしたいと思いますが、この卒業を祝う会を通して思うことは、
時間の長さや、美しく飾られた場所が大切なのではなく、ありがとうを伝えたい、
お別れを惜しむ、そういった気持ちや真心が大切だということです。

どうか忘れないでください。
相手を思う真心があれば、やるべきことや、知恵やアイデアが想像以上に浮か
んでくるということ。

他の方の苦しみや悲しみをいやしたい、少しでもわかちあいたい、
その真心があれば、心はつながります。

どうか、そんな思いに溢れた、放生津小学校であってほしいと願います。